

(別紙)新旧対照表

新	旧
<p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>飯田市は、日本のほぼ中央に位置し、長野県の最南端、いわゆる伊那谷における中心都市である。人口は107,000人、面積658.76平方キロメートルである。</p> <p>(略)</p> <p>また、豊富な森林資源を活かしての間伐促進やそれらの材を市内にある林産物処理加工施設で良質の製品に加工し東海地方を中心とした市場へ搬出している。</p> <p>これらの地域活性化を推進する上で、長野県と静岡県を結ぶ、市道南信濃156号線と林道千遠線は、観光・産業道路として最も重要な幹線道路である。特に、木材製品の搬出道路となっているが、平成12年に「かぐらの湯」開業以来、交通量が増加し、舗装路面の損傷が激しく通行に支障をきたすと共に、製品の品質低下の要因となっている。又、年に数件、路面の損傷による車の破損事故や法面崩壊・落石等による通行止めが起こっているため、通行者の安全確保のため早期整備が必要である。特に、自動車で訪れる観光客のためにも、通行しやすい道路は必須のものである。</p> <p>そこで、飯田市千代地区と、泰阜村を経由し飯田市南信濃和田地区とを結ぶ基幹林道(林道千遠線)の整備を行うことで、輸送時間の短縮により、林野からの木材の安定した供給が図られ、市内で処理加工することで付加価値を付けることができる。また、林道と市道の一体的整備により、飯田市を訪れる人々にとっても、市内での車の移動がよりなることから、地域資源を活かした産業振興と、都市住民と市民の交流を促進することで地域に誇りを持ち、癒しの場としての「心豊かな飯田市」の活性化が図られることになる。</p> <p>(略)</p>	<p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>飯田市は、日本のほぼ中央に位置し長野県の最南端、いわゆる伊那谷における中心都市である。人口は107,000人、面積658.76平方キロメートルである。</p> <p>(略)</p> <p>また、豊富な森林資源を生かしての間伐促進やそれらの材を市内にある林産物処理加工施設で良質の製品に加工し東海地方を中心とした市場へ搬出している。</p> <p>これらの地域活性化を推進する上で、長野県と静岡県を結ぶ、市道南信濃156号線と林道千遠線は、観光・産業道路として最も重要な幹線道路である。特に、木材製品の唯一の搬出道路となっているが、平成12年に「かぐらの湯」開業以来、交通量が増加し、舗装路面の損傷が激しく通行に支障をきたすと共に製品の品質低下の要因となっている。又、年に数件路面の損傷による車の破損事故や法面崩壊・落石等による通行止めが起こっているため、通行者の安全確保のため早期整備が必要である。特に、自動車で訪れる観光客のためにも、通行しやすい道路は必須のものである。</p> <p>そこで、飯田市千代地区と、泰阜村を経由し飯田市南信濃和田地区とを結ぶ基幹林道(林道千遠線)の整備を行うことで、輸送時間の短縮により、林野からの木材の安定した供給が図られ、市内で処理加工することで付加価値を付けることができる。また、林道と市道の一体的整備により、飯田市を訪れる人々にとっても、市内での車の移動がよりしやすくなることから、地域資源を活かした産業振興と、都市住民と市民の交流を促進することで地域に誇りを持ち、癒しの場としての「心豊かな飯田市」の活性化が図られることになる。</p> <p>(略)</p>
<p>5. 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1) 全体の概要</p> <p>(略)</p> <p>・伝承文化・景勝地での観光客の増加、地域資源を活かした各種体験ツアー等の<u>取組み</u>を実施する。</p> <p>(5-2) 法第5章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>道整備交付金を活用する事業</p> <p>(略)</p> <p>[整備量及び事業費]</p> <p>・市道 7.0km</p> <p>・林道 <u>2.2km</u></p> <p>・総事業費 474,000千円(うち交付金 237,000千円)</p> <p>市道 150,000千円(うち交付金 75,000千円)</p> <p>林道 324,000千円(うち交付金 162,000千円)</p> <p>(5-3) その他の事業</p> <p>5-3-1 基本方針に基づく支援措置</p> <p>(略)</p> <p>5-3-2 基本方針に基づく支援措置によらない独自の取組み</p> <p>(略)</p> <p>○特産品の開発・販売の取組み</p> <p>飯田市と農協が共同で、飯田市の特産品である「赤石銘茶」の製造過程で不用となる「二番茶」を使い、『南アルプスの紅茶・うまいんだに』を開発・販売している。</p> <p>また、以前行っていたキジの養殖の技術を活かして信濃地どりを養殖し、市内の飲食店への提供や、市外への出荷を行っている。</p> <p>(略)</p>	<p>5. 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1) 全体の概要</p> <p>(略)</p> <p>・伝承文化・景勝地での観光客の増加、地域資源を活かした各種体験ツアー等の<u>取組み</u>を実施する。</p> <p>(5-2) 法第5章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>道整備交付金を活用する事業</p> <p>(略)</p> <p>[整備量及び事業費]</p> <p>・市道 7.0km</p> <p>・林道 <u>1.7km</u></p> <p>・総事業費 474,000千円</p> <p>市道 150,000千円(うち交付金 75,000千円)</p> <p>林道 324,000千円(うち交付金 162,000千円)</p> <p>(5-3) その他の事業</p> <p>5-3-1 基本方針に基づく支援措置</p> <p>(略)</p> <p>5-3-2 基本方針に基づく支援措置によらない独自の取組み</p> <p>(略)</p> <p>○特産品の開発・販売の取組み</p> <p>飯田市と農協が共同で、飯田市の特産品である「赤石銘茶」の製造過程で不用となる「二番茶」を使い、『南アルプスの紅茶・うまいんだに』を開発・販売している。</p> <p>また、以前行っていたキジの養殖の技術を生かして信濃地どりを養殖し、市内の飲食店への提供や、市外への出荷を行っている。</p> <p>(略)</p>